

甲賀市ネイチャーポジティブ宣言について

自然豊かな本市においても生物多様性の劣化が進んでいることから、生物多様性の損失を止め、反転させ、自然を回復軌道に乗せる「ネイチャーポジティブ」を実現し、豊かな自然を次代の子どもたちに引き継ぐため、多様な主体が連携し、オール甲賀で取組を推進するために宣言するものです。

- 「ネイチャーポジティブ宣言」を行うことで、本格的なネイチャーポジティブ推進のキックオフ宣言とし、市民や協力いただける市内外の企業等へのアピールとなる。
- 宣言のネーミングは、宣言する団体の自由だが、“ネイチャーポジティブの実現を目指す”という意図を含むことが前提となる。
- 宣言内容は、環境審議会（附属機関）や庁内の意見を踏まえて、今後調整を行っていく予定。
- 国（環境省）においても、ネイチャーポジティブ宣言の表明を呼び掛けている。
- 環境省のホームページにて、宣言事業者および宣言書が掲載される。
- 自治体による宣言は、全国で 23 件（令和 7 年 7 月 6 日現在）
- 令和 7 年 2 月 16 日に東近江市が宣言を行ったことから、本市は県内自治体では 2 例目となる見込み。
- 企業・団体による宣言は 309 件（甲賀市内の企業はなし）
- 東近江市は宣言後、企業からの問い合わせが数件あり。

【今後の予定】

8 月 1 9 日	環境審議会で協議（ネイチャーポジティブ宣言）
9 月	環境未来都市推進本部幹事会
1 0 月	環境未来都市推進本部会議
1 1 月	議会報告
1 1 月（予定）	ネイチャーポジティブ宣言
	環境省ホームページにネイチャーポジティブ宣言の掲載（予定）

(たたき台)

甲賀市ネイチャーポジティブ宣言

甲賀市は、東に鈴鹿山脈、西に信楽山地、両山地の間には丘陵地が広がり、希少な動植物や多くの生きものたちが生息・生育する豊かな自然環境があります。そして、忍者や信楽焼、薬、茶、地酒など、多くの文化や産業が、これらの自然に支えられ、発展してきました。

適正に管理された本市の里地里山では、ヤマトサンショウウオやカワバタモロコ、市の花であるササユリなど、多くの生きものたちが共生する豊かな自然環境が残っています。しかし、社会・経済活動の変化や気候変動などから、かつての豊かな自然環境の急速な減少、生態系の劣化が進み、先人たちが守ってきた甲賀の豊かな自然が失われつつあります。

私たちは、市民や団体、企業、教育機関等と連携しながら、2030年までに生物多様性の損失をくい止め、反転させ、回復軌道に乗せる「ネイチャーポジティブ」を実現し、豊かな自然環境や自然の恵みを未来の子どもたちへ引き継いでいくことを宣言します。

令和7年(2025年) 月 日

甲賀市長 岩 永 裕 貴